

2018年度 NPO 法人がんと共に生きる会 公開講座 in 大阪
『難治性がんに挑む！part.3 ～胆道がんの最新医療と患者サポート・がん相談～』
開催報告書

下記の通り、公開講座を実施した。

- ・日時 2018年2月18日(日)
13:30分 開演(13:00開場)
- ・会場 大阪国際がんセンター
1階 大講堂
- ・参加者 95名



主催/NPO 法人がんと共に生きる会

共催/NPO 法人大阪がんええナビ制作委員会

後援/WJOG 西日本がん研究機構、産経新聞社、

公益財団法人 大阪成人病予防協会、

公益財団法人 大阪対がん協会、大阪府

補助/この事業は、大阪府がん対策基金の補助金を活用して行っています。

各プログラム内容

★講演の部

1. 「胆道がんの予防・早期発見から外科最新治療について」

講師：八尾市立病院総長 肝胆膵外科学会高度技能指導医 佐々木 洋氏



胆道がんの種類、疫学、診断法と、肝(右)葉切除・胆管切除・膵頭十二指腸切除術等の外科的手術法やステント治療について詳しく解説された。胆道がんのリスクとなるものについても述べられ、早期発見の手がかりとなる情報提供にもなった。

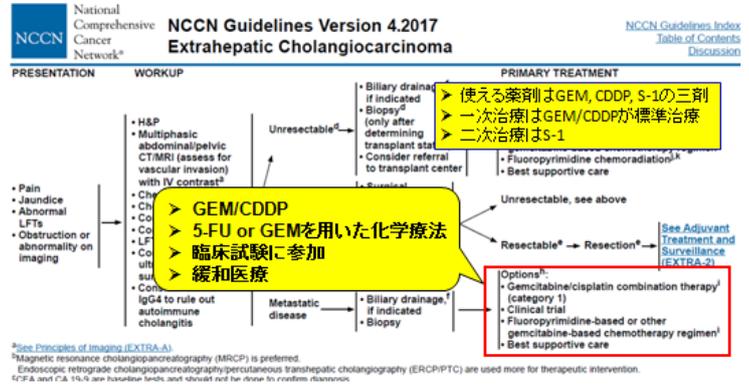
2. 「胆道がんに対する化学療法の役割」

講師：京都大学大学院医学研究科・医学部

臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座特定准教授 金井 雅史氏



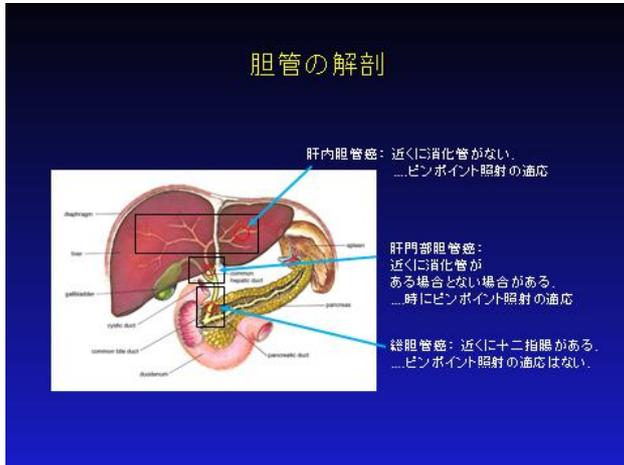
NCCNガイドライン 胆道癌 2018



胆道がんの化学療法について、標準療法から最新の臨床試験まで詳しく解説された。また、化学療法の将来についても、ゲノム医療や人工知能を用いたがん医療等の展望が述べられた。

3. 「胆道がんに関連する放射線治療について」

講師：八尾市立病院特命院長兼放射線科部長 西山 謹司氏



放射線治療の原理と肺がん・肝臓がんに対する体幹部定位照射について分かりやすく解説され、胆管がんの放射線治療については、肝門部・肝内胆管がんの症例が紹介された。

4. 「病院で受けられるサポート、がん相談について」

講師：関西医科大学附属病院 がんセンター がん看護専門看護師 佐久間 博子氏

がん相談支援センターに相談ができる事の例

- 検査・治療・副作用
- 医療者とのコミュニケーション
- がん予防や検診について
- 経済的負担や支援について
- 緩和ケア ●療養生活について ●家族とのかかわり
- 社会とのかかわり
- 患者さんや家族のこころのこと

相談内容が同意なしに他者に知られることはない



がんの治療や療養は、ひとりで病気と闘うのではなく、みんなで向き合っていくものだと言われた。そのために病院で受けられるサポートとして、がん相談支援センターを上手に活用していく方法が紹介された。

★ディスカッションの部

会場の皆さまとの質疑応答、意見交換



参加者からの質問に対して、講師の先生方から回答を頂き、会場との意見交換も行われた。

参加者アンケート集計結果(回答数65)

・本日の内容はいかがでしたか？	
1.講演の部	
よく理解できた	42
ふつう	8
分かりにくかった	15
2.質疑応答・意見交換の部	
よく理解できた	49
ふつう	12
分かりにくかった	4
・ご意見・ご感想をお聞かせください。	
大変よく理解できました。(同意見17名)	
講演は、専門的な用語が多かったので、もう少しくだいた言葉にして頂けるとよかった。(同意見8名)	
先生方の講演は、少し早口だったこともあり、よく理解できない部分があった。(同意見5名)	
新しく知ることがあったので良かった。かかっている病院にも聞こうと思うことがありました。	
胆道がんの発生場所、大きさなどから治療法がどのように変わるのか、どんな治療が効果があるのか、患者・家族の立場で出来ることは何かなど、分かりやすかったです。	
他人に頼るばかりでなく、自分でも色々な方法で勉強をして、医師と患者で治すことで死亡率を低く出来るように思えた。	
現実的に抱えている問題や疑問、主治医になかなか聞けないことが質問にあり、最新の情報が分かりやすかった。	
治療の選択肢がこれから広がっていく期待がある中で、医師からの情報提供が乏しい、あるいは、患者の治療に関する質問に対して詳しく答えられないことがあると思う。色々な治療の情報を医師から提供してほしい。	
放射線治療の線量をどう決めているのかなどを分かりやすく説明いただけて、あまり詳しくなかった放射線治療のことも知れて良かった。	

以上